

日 時：令和8年5月15日（金） 10：00～12：00

会 場：浦和別所小学校 東校舎4階 多目的室東

出席者：学校運営協議会 会長／田島道子（浦和別所幼稚園 園長）
学校運営協議会 副会長／飯塚雅雄（地元有識者）
学校運営協議会 委員／大内聡子（民生主任児童委員）
学校運営協議会 委員／後藤裕希子（育成会総務部 副部長）
学校運営協議会 委員／小川徳子（浦和別所児童センター 館長）
学校運営協議会 委員／大隈里絵（別所第2自治会 副会長）
学校運営協議会 委員／黒沢光輝（白幡瓶尻自治会 会長）
学校運営協議会 委員／アリヤル礼（浦和別所小学校 PTA 会長）
学校運営協議会 委員／羽鳥典子（すくさぽ浦和別所 運営委員）
学校運営協議会 委員／池田なつき（(株) ロッテ サステナビリティ推進部）
学校運営協議会 委員／多田嘉典（浦和別所小学校 校長）
学校運営協議会 委員／松崎直人（浦和別所小学校 教頭）
学校運営協議会 委員／佐藤恵実（浦和別所小学校 学校地域連携コーディネーター）
事務局／石原裕太（浦和別所小学校 教頭）
事務局／本名哲郎（浦和別所小学校 教務主任）
事務局／有隅宏美（浦和別所小学校 事務主幹）
欠席者：学校運営協議会 委員／小倉弘一（白幡中学校 校長）
学校運営協議会 委員／南 啓員（浦和別所公民館 館長）

* 武蔵浦和義務教育学校開校準備室より

- ・ 3度目の入札があり、現在令和11年度に校舎工事完了を目指している。
- ・ 開校準備委員会の組織説明があった。
- ・ ワーキンググループの会議開催通知をもっと早めに欲しいと大内委員から要望があった。

1 開会のことば（松崎教頭）

2 校長あいさつ

- ・ モーニング・サポーターやランチ・サポーター等多くの方のサポートをいただき感謝している。
- ・ 5月に入って6年生は親善バスケットボール大会、5年生は音楽鑑賞会等の行事があり、子どもたちの様子は、毎日HPに掲載しているので見て欲しい。

3 いじめ防止対策委員会 加勢生徒指導主任による報告

(1) いじめの現状について

5月の段階で10件対応中。うち5件は昨年度から継続して対応。

いじめが認知されると3か月の見守りを実施。下校時のトラブルが多く、注意喚起している。

(2) いじめの未然防止の取組について

① 道徳教育の充実【実施予定】

② いじめ撲滅重点期間（6月）の取組【実施予定】

- ・ 計画委員会による、いじめ撲滅を目指したキャンペーン（あいさつ運動）を地域と協働して開催する。

- ③ 人間関係プログラム【実施中】 毎学期3時間のエクササイズを実施。1学期は実施済。心のアンケートを実施し、即時対応を行っている。
- ④ いのちの支え合いを学ぶ授業【実施予定】 年間1時間。大人に相談できる等、誰かにつなげる力をつける。
- ⑤ メディアリテラシー教育【実施予定】 5年生が12月に実施予定。SNSのトラブルが多いため、各学年でも指導している。
- ⑥ 保護者との連携【実施中】
- ⑦ あいさつ週間【実施予定 6月・9月・11月・1月】 あいさつ運動の実施。
・地域と協働しての実施。
- ⑧ なかよしタイム【実施予定】 交流学年で名刺交換等を実施し、異年齢交流の充実を図る。

4 学校運営協議会 (進行：松崎教頭)

- 1 さいたま市学校運営協議会・協議会規則について (松崎教頭)
さいたま市学校運営協議会規則の第3条に協議会の意義・役割を明記しているので、各自確認をお願いしたい。協議会は年3回実施予定。
- 2 令和8年度学校運営協議会委員委嘱・任命 (多田校長)
- 3 会長・副会長選出 (委員の互選)
令和8年度の会長に田島道子委員、副会長に飯塚雅雄委員を選出。承認を得た。
- 4 田島会長あいさつ
昨年度は他県からの視察もあり、浦和別所小学校の学校運営協議会がお手本になっている。時代を背負って立つ子どもたちを多く育てる浦和別所小学校の応援団として、地域の発展に貢献していきたい。
- 5 UBコミュニティ概要説明 (佐藤地域コーディネーター)
学校運営協議会は、様々な学校課題やビジョンを共有して、意見や課題解決策を協議する場であり、コミュニティスクールの「頭脳」である。委員のみなさまから多くの意見をいただきたい。コミュニティスクールの「体」である協働活動本部の「すくさぽ浦和別所」があり、具体的な取り組みを実施し、学校運営協議会との一体的推進を図っていきたい。
- 6 令和8年度「学校運営に関する基本的な方針」について
 - (1) 学校経営計画に関すること。(多田校長)
学校教育目標である「すすんで学ぶ子」「あいさつができる子」「つよい体をつくる子」を受けてめざす学校像、めざす児童像、めざす教師像を設定しているが、社会の変化も激しく、予測困難な時代の中を生きる子どもたちの育成は、学校だけでは困難なので、保護者や地域のみならずと目標を共有して、子どもたちの育成に当たりたい。
子どもの学びにおいては、個別最適化、協働的な学び、多様な学びに重点を置き、学校運営協議会が中心となり、子どもの思いも取り入れ、学校に関わる全ての人が笑顔で幸せになるコミュニティスクールを発展させていきたい。
次に学校自己評価システムシートを使って、5つの重点目標の現状と課題をお伝えしたい。
 - 学びの質の向上に関する取り組み
課題：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実と確かな学力の育成。
具体的方策：教育委員会による学力向上カウンセリングを受けて、より効果的な手立てを設定し、教育活動、授業に生かしていく (夏休みに実施予定)。
 - 子どもの発達や、心のサポートに関する取組。
課題：Sola る一むの運用体制の整備。

具体的方策：S CやS S Wの専門職と連携し、子どもの居場所を確保し、関係外部機関とも連携して迅速および組織的な対応をする。

○地域とともにある学校づくりに関する取組。

課題：学校運営協議会の充実に向け、より多くの児童が参加し熟議の活性化を図る。また、家庭、地域への情報発信による協働体制強化をしていく必要がある。

具体的方策：PTA、地域、すくさぼと連携し、児童のエージェンシーを育む教育活動や行事を実施する。

○教育環境の整備に関する取組。

課題：児童が自ら危険を予測したり、安全に行動したりする力を育む。

具体的方策：新しい試みとして、5年生対象に金融リテラシー教育を実施予定。また、今年度も、安全委員会の児童と地域の協働活動を実施する。

○教職員のキャリア形成に関する取組。

課題：授業実践を重ね、一人ひとりの授業スキルの向上を図る必要がある。

具体的方策：カリキュラム・マネジメントの充実を図り、教育活動の見直しや、授業改善、業務改善に取り組み、教師のエージェンシーも育む。

(2) 教育課程の編成に関すること。(本名教務主任)

「さいたま市小・中一貫教育」による教育の質の向上の取組について

○カリキュラムについて

児童の発達段階を踏まえ三期に分けて指導内容、方法の重点化したカリキュラムを作成。

○教科担任制について

本校では高学年と4年生の子どもたちが「国社算理音図体G S」の教科について教科担任から指導を受けることができるよう時間割編成をしている。3年生は交換授業を実施している。

○「つぼみの日」について

中学校進学への不安を和らげる取組。中1ギャップの緩和として一定の成果を上げている。

○白幡中学校との合同引渡し訓練を実施。

○小・中学校における教育相談の充実。白幡中学校のさわやか相談員による「いのちの支え合い」を学ぶ授業の実施。小中合同研修会を活用した指導力の向上を図っている。

○1年生の給食指導補助や2年生のまちたんけんの付き添い等地域の力を得た教育課程、教育活動が展開され、子どもたちの主体的な学びに繋がっている。

○令和7年度の学校評価を参考に、教育課程の編成等の工夫を継続していきたい。

○今年度から成績を2期制に変更。

(3) 組織の編成に関すること(松崎教頭)

全部で37学級。1147名の児童が在籍。

(4) 予算の執行に関すること。(有隅事務主幹)

・令和7年度は適正に予算を執行することができた。執行率99.4%。折り畳み椅子50脚、フォールディングテーブル10台購入した。

・令和8年度は児童数が約50名減というところで、予算額が減額となった。また、学年費で購入していたコピー用紙を公費負担にしていく予定。

今年度も計画的に、そして適正に予算を執行していきたい。

松崎教頭：集金業務の改善として、保護者や教職員の負担軽減になるスクペイを導入予定。

(5) 施設及び設備の管理に関すること。(松崎教頭)

- ・1階ピロティ屋外排水管詰まり他3項目の改修を要望している。その他に、樹木伐採の要望書も提出中。体育館のエアコン設置は来年度の予定。

田島会長：成績の2期制は、子ども、保護者、教員に余裕が生まれ、教員がしっかりと子どもたちと向き合えるよい取り組みである。

以上、さいたま市教育委員会規則第1号 さいたま市学校運営協議会規則 第5条学校運営に関する基本的な方針に関する(1)～(5)について校長が説明し、すべて承認を得た。

5 すくさぽ浦和別所（SSN）の活動について（佐藤地域コーディネーター）

① 令和8年度活動計画

- ・4月にボランティア活動登録者を募集。今年度も多くの登録者があった。
- ・特に子どもと関わる学習支援ボランティアは人気があり、多くの方が登録している。

② 新規事業の「子ども支援ボランティア 別所っ子サポーター」の活動について

- ・専門性の高いスクールソーシャルワーカーの先生からご指導をいただいた上で、現在4名の支援員が活動している。
- ・スクールソーシャルワーカーの不在日にも、1学期に1回程度のサロンを開催予定。

③ 令和8年度地域連携授業について

- ・今年度も全学年の授業にボランティアや地域人材・資源との協働授業を実施予定である。
- ・今年度はロッセの池田様が学校運営協議会委員として参画しており、お力添えをいただいて更なる連携授業の充実を図っていきたい。

④ 児童との協働活動について

昨年度同様に「自分たちが暮らす地域の安全について考える」をテーマとして、計画委員会および安全委員会の児童、自治会、育成会、民生委員、すくさぽ浦和別所運営委員、防犯ボランティアとの協働活動を推進する。また、6月3日（水）の児童の安全委員会に地域の安全活動のアドバイザーとしての参加を依頼した。第2回学校運営協議会の熟議を活用して、児童と学校運営協議会委員が協議する予定である。

6 熟議（松崎教頭）

テーマ「児童・生徒と地域の協働による安全活動」について、第2回の学校運営協議会の熟議で話し合う予定。

7 事務連絡（日程等について）

- ・令和8年11月 4日（水）PM 第2回学校運営協議会 安全委員会の児童と熟議
- ・令和9年 2月12日（金）AM 第3回学校運営協議会 安全委員会の児童と交流給食
- ・今年度から費用弁償制度が導入された。
- ・学校運営協議会委員の名札を配布。入校証として活用してもらうこととした。

8 閉会のことば（松崎教頭）

9 授業参観

1年生と6年生の授業を参観した。